



2020年1月31日

各 位

会社名 東海染工株式会社  
代表者名 取締役社長 鷲 裕一  
コード番号 3577 東証・名証第1部  
問合せ先 管理部長 岡野 浩二  
(TEL 052-856-8141)

## 特別損失（減損損失）の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年3月期第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日）において、下記のとおり特別損失（減損損失）を計上いたしましたので、お知らせします。

あわせて、2019年10月31日に公表いたしました2020年3月期通期連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失（減損損失）の計上

当社グループの染色加工事業における編物加工分野にかかる固定資産について、収益性の低下による減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能額まで減額し 650 百万円を減損損失として計上いたしました。

また、当社が保有する賃貸用施設（保養所）につきまして、利用者の減少から賃貸契約を終了することになりましたので 42 百万円を減損損失として計上し、合計で 692 百万円の特別損失（減損損失）を計上いたしました。

現在、国内染色加工事業では、原材料価格の高騰や物流費アップによる製造原価上昇に加えて、大手アパレルが大規模閉店を進めるなど衣料品市場縮小の動きが加速しており受注環境が想定を超えて悪化する厳しい状況が続いております。

当社は、この状況に対応すべく国内各生産拠点で市場規模に見合った体制への再編・見直しに着手しており、生産・業務の集約・効率化を進めるなど、全社で人員の適正化を進め、固定費圧縮を図ります。

一方、海外生産拠点では、これまで以上にコスト削減に努めるとともに、インドネシアでは、スラバヤなどの東ジャワ地区、タイでは、ミャンマーなどのタイ周辺諸国への市場開拓を進めております。更に、収益改善を果たしている保育サービス事業、その他周辺事業でも積極的な拡大を図ることでグループ全体での業績回復に努めてまいります。

## 2. 業績予想の修正

### (1) 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 14,200	百万円 680	百万円 680	百万円 300	円 銭 89.93
今回修正予想(B)	13,900	500	500	△500	△152.56
増減額(B-A)	△300	△180	△180	△800	—
増減率	△2.1%	△26.5%	△26.5%	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	14,507	752	806	409	122.86

### (2) 修正の理由

当社グループの主力である染色加工事業を取り巻く経営環境は国内外ともに非常に厳しい状況で推移しております。国内においては、消費増税の影響・衣料品市場縮小を受け、第4四半期は受注量の減少が見込まれ、海外においても、米中貿易摩擦の影響等が長期化しており収益を落とすことが予想されます。加えて、上記1. のとおり、固定資産の減損損失を特別損失として計上することから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株式に帰属する当期純利益を前回予想から修正いたします。

(ご注意) 上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、今後、様々な変動要因により、実際の業績が上記数値と異なる可能性があります。

以上